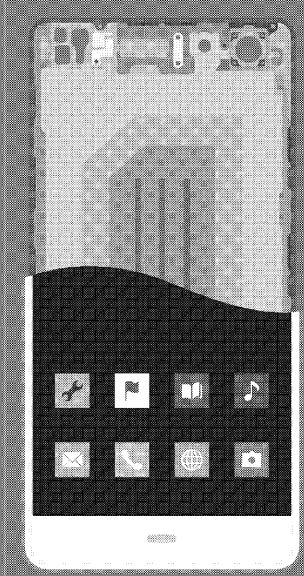


日刊工業新聞社の金属加工関連書籍!

今日からモノ知りシリーズ

日経金のアルミ File-004

これからのを、つくろう。



リサイクルで、未来をアップデートします。

いま、スマホでも活躍しているアルミ合金。アルミは、純度99%以上の純アルミと、純アルミにさまざまな元素を添加したアルミ合金に分けられます。使用後にスクラップとなったアルミもリサイクルして再び合金にすることで、純アルミには無い性質を出すことができ、用途の幅も広がります。私たちはお客様の声に耳を傾け、様々な要望と向き合い、研究に研究を重ねた結果、オリジナルのアルミ合金を数多く開発。お客様のニーズに合わせ、より便利な暮らしに貢献しています。アルミに新たな命を吹き込むことで、まだ見ぬテクノロジーの変化にも応えていく、日本軽金属グループです。

日本軽金属グループは、日本車いすラグビー連盟のオフィシャルパートナーです。

アルミを次のステージへ。
NLM 日本軽金属グループ

トコトンやさしい 金属材料の本

吉村泰治 著 ●A5判 ●本体1,500円+税
私たちの身の周りには金属製品が溢れているが、金属を意識する機会は少ない。本書では、金属の歴史から金属の種類、その加工方法、応用事例、そして金属材料の将来について、幅広く平易な内容で解説。ものづくりの視点から金属材料を捉える。

トコトンやさしい 圧延の本

菅谷保博 監修 JFEスチール圧延技術研究会 編著 ●A5判 ●本体1,500円+税
金属材料を「薄く伸ばして製品化する」圧延工法に関わる多くのトピックスを絵とときに紹介する。平板や形鋼、棒鋼のほか硬貨や電線、航空機、建築資材など最終製品を数多く取り上げて親しみやすさにも配慮。圧延のふしぎ・原理原則・用途・技術などについてやさしく語る。

トコトンやさしい 鍛造加工の本

篠崎吉太郎 著 ●A5判 ●本体1,400円+税
鍛造は、工具や金型などを用いて打撃や鍛錬などにより加工する成形技術。昔から日本全国で広く行われ、よく知られている。その反面、内容については知られていない。本書は、その鍛造について、加工法から加工原理、よく使われる機器・装置などをわかりやすく解説した鍛造加工の入門書。

トコトンやさしい ねじの本

門田和雄 著 ●A5判 ●本体1,400円+税
世の中にはさまざまな大きさや形の「ねじ」が存在しており、地味だが重要な役割を担っている。本書は、ねじの歴史、種類、規格、はたらく、ねじを支える技術などを、イラストを多用してわかりやすい文体で紹介する。

◆お求めは書店または弊社出版局販売・管理部まで
日刊工業新聞社 出版局販売・管理部 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 TEL 03(5644)7410 http://pub.nikkan.co.jp/ FAX 03(5644)7400

優れた特性が支える社会 アルミニウム

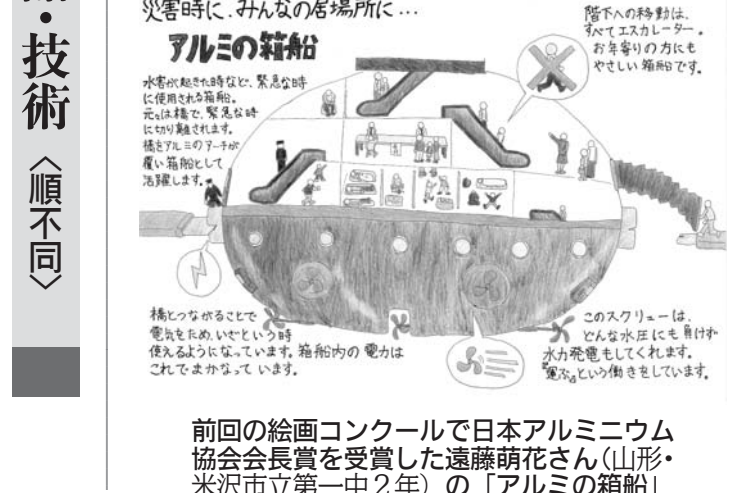
UACJ
UACJは世界トップクラスの生産能力を持つアルミニウム総合メーカー。板材、自動車部品、押出材、箔、鋳造加工品事業を持つ。グループの総合力を結集し飲料缶、自動車、IT機器、空調、航空宇宙産業など幅広い分野にアルミニウムを供給している。
今年2月に再策定した同グループ企業理念には「素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する」と掲げている。
「軽い」「リサイクルしやすい」などのアルミニウムの特性を生かして暮らしや産業を支えるとともに、持続可能で豊かな社会の実現に貢献していく。



車両の軽量化に貢献するアルミニウム(イメージ)

有力企業の製品・技術(順不同)

日本軽金属グループ
日本軽金属グループは創業以来アルミニウムの原料から加工製品に至るまで、幅広い製品を扱ってきたアルミニウム総合メーカー。同社は「チーム日軽」としてグループの総力を結集し、顧客の「欲しい」を満たし、顧客にとっての価値を創造していく。
信頼され、選ばれる企業グループとして、アルミニウムに対する豊富な知見と技術をベースに、素材メーカーの概念を超え、これまでとは違う次元で取り組んでいく企業グループになることを目標にしている。こうした事業活動を通じて、人々の暮らしの向上と、地球環境の保護にも貢献していく。



前回の絵画コンクールで日本アルミニウム協会会長賞を受賞した遠藤萌花さん(山形・米沢市立第一中2年)の「アルミの箱船」

「軽さ」生かし採用拡大
アルミニウムは軽く、やわらかく加工し、リサイクル性に優れている上に錆に強いという特性を持つ。その性質から家庭用雑貨などの生活用品をはじめ、構造材、航空機や車両向けの輸送機器など、われわれの生活のあらゆる場面で活躍している。また熱伝導性も高く、機器の放熱素材としても使用されている。アルミは製造業の競争力を支える基盤材料として、重要な役割を担っている。
アルミニウムは軽く、やわらかく加工し、リサイクル性に優れている上に錆に強いという特性を持つ。その性質から家庭用雑貨などの生活用品をはじめ、構造材、航空機や車両向けの輸送機器など、われわれの生活のあらゆる場面で活躍している。また熱伝導性も高く、機器の放熱素材としても使用されている。アルミは製造業の競争力を支える基盤材料として、重要な役割を担っている。

新型コロナウイルス感染症拡大による自動車関連の工場閉鎖・減産が大きく影響したとみられる。缶材も外注自販で自販機やコンビニ販売の減少が影響した。その一方で、缶材は海洋プラスチック問題で敬遠されがちなペットボトルに替わる飲料ボトルとして世界的に再注目されており、今後出荷数が伸びると予測される。
日本アルミニウム協会は毎年「アルミ作品募集」を開催している。応募対象者は国内居住の小学5・6年生と中学生。「あつらいの小学5・6年生と中学生」が発表された「2022な、こんなアルミ」な0年度上期(4-9)をテーマに、イラストや絵画を募集している。応募期間は来年の1月末まで。表彰式は同年3月25日(予定)を予定している。コンクール応募者全員に参加賞としてアルミ製ペンケースを贈呈している。

アルミニウムは、どこまでクルマの環境負荷を減らせるか。

2030年。世界の自動車は16億台を超えと言われています。そのとき、地球への環境負荷をいかに軽減できるか。解決策のひとつとして、いま注目されているのがアルミニウム素材。車体の軽量化により燃費を改善、航続距離をのばし、環境負荷の少ない社会を支えていきます。

その課題に、アルミニウムでこたえていく

